

# home.

Shizuoka Saiseikai Communication Paper



May.2018

Vol.30

03\_がんトータルケア

化学療法センターの仕事

04\_DOCTOR'S VOICE

胸部・心臓血管外科

05\_認定看護師 vol.08

皮膚・排泄ケア認定看護師

06\_地域連携による安心の医療

医療連携医のご紹介

07\_インフォメーション

済生会フェア2018開催!

特集 がんトータルケア

# 大腸がんと向き合う

患者さん目線での治療選択



一人では、がんと向き合えないから。  
私たち済生会チームが味方になります。

済生会の「がんトータルケア」は安心を退院後まで。

どんなに腕のいい医者さんも、たった一人でがん患者さんを支えることはできません。

がんが見つかったら、患者さんにはたくさんの味方が必要です。

主治医だけでなく、関連する診療科の医師や薬剤師、心もケアする専門知識を持った看護師、  
退院後のことや経済面の相談ができるスタッフ等々。

心から安心して暮らせるその日まで、済生会はチームでがんのトータルケアに全力を注ぎます。

Dr.に聞きました!

外科 医長

**Dr. 土屋智敬**

Tomonori Tsuchiya

医学博士 / 日本外科学会専門医 / 日本消化器外科学会専門医 / 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 / 検診マンモグラフィ読影認定医 / 日本乳癌学会認定医 / 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 / ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター

## 治療面

### ベストな医療が受けられる 体制を整えています

病状も家庭環境もそれぞれの患者さんがベストな治療を受けられるよう、内科と外科など診療科同士や、病棟看護師、化学療法センターなどが緊密に連携しています。また他院とも情報交換を行い、連携を図っています。

### 辛い症状は緩和医療科が マネジメントします

当院には、がんと向き合う患者さんの精神的・身体的な辛さを和らげる緩和医療科があります。抗がん剤の副作用の緩和や再発がんの苦痛の緩和など、専門の医師がケアにあたっています。

## 生活面

### 退院後の生活を考えた 治療やサポートを行います

退院後の生活の質をより良いものにするために、入院した直後から退院支援専門のスタッフがご本人の生活環境に応じた様々な支援を行っています。一方、精神科医を中心とした、入院患者さんの心のサポートを行うチームが病気や退院後の不安の軽減に取り組んでいます。

### 治療費の相談・支援を行っています

社会福祉法人の使命として、経済的事情で治療が受けられない患者さんのために、治療費に関する相談にお応えしています。

## がん治療の現場から 1

# 大腸がんと向き合う



### 大腸がん という病気

盲腸から直腸までの腸にできるがんはすべて大腸がんと呼ばれ、中でも多いのはS状結腸がんや直腸がんです。他のがんと比べ、きちんと治療をすれば比較的治りが良いのが特徴。進行もゆっくりで、ステージ4まで進行していても手術で治る可能性があります。ただし自覚症状が出る頃にはかなり進行していることが多いため要注意です。

### さまざまな 治療法

大腸がんの根治には手術が必須です。初期のがんなら内視鏡での切除も可能。転移がある場合など、抗がん剤でがんを弱らせてから手術することもあります。腸閉塞などで緊急手術が必要になることもあり、当院では救命救急センターと連携し、緊急手術ができる体制を整えています。直腸がんでは人工肛門を造設せざるをえない場合があります。肛門温存にも力を入れていますが、むしろ人工肛門を造設することにより、トイレを気にせず安心して生活できるという利点も。当院では皮膚・排泄ケア認定看護師を中心に、患者さんの生活の質を考えた選択をサポートしています。

### ご家族への 情報提供

がんと向き合うにはご家族の協力が不可欠です。がんについて患者さんにきちんと理解していただけるよう、ご本人の家庭環境を把握し、ご家族にも患者さんと同じ情報を提供しています。患者さんやご家族が、納得する治療法の選択ができるよう、医師と十分話し合うことが大切です。

# 化学療法センターの仕事

がんと診断された患者さんが、薬による治療を受けるところ、それが化学療法センターです。

当センターでは、年間5,000件を超す治療を行っており、がん治療認定医やがん化学療法看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、管理栄養士などがそれぞれの専門性を発揮し、チームで患者さんの体と心を支えています。



副センター長（産婦人科科長）

**Dr. 田村圭浩**

Yoshihiro Tamura

センター長（副院長）

**Dr. 岡本好史**

Yoshichika Okamoto

がん化学療法看護  
認定看護師

**朝日恵美**

Emi Asahi

## 患者さんの体・心・生活を支えます

化学療法センターは、患者さんと担当医とで相談して決めた治療方針に基づき、薬を使ったがん治療を行う場所です。これまでの生活を続けながら治療を受けることができるのが外来治療の利点です。そのため、抗がん剤による副作用のマネジメントは当センターの役割のひとつです。副作用対策（支持療法）の進歩でかなり軽減されてきていますが、中には副作用が強く出やすい薬もあり、適切なケアが大切です。そしてもう一つの大切な役割が、患者さんの生活面のサポートです。心のケアから経済的な問題まで、様々な悩みや不安に寄り添い、患者さんが前向きに治療に取り組めるよう、共に考え支援を行っています。

### さまざまな治療法

薬によるがん治療は、完治を目標とする治療と、進行を遅らせ症状を抑える治療に大別できます。使う薬はよく知られている抗がん剤の他、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、内分泌療法薬など様々。患者さんの職業や家庭環境によっても最適な治療法は変わります。ベストな治療を受けていただけるよう、患者さんへの十分な情報提供に努めると共に、関係各部門と情報を共有し連携しています。なお、当院では行っていない保険診療外の治療を希望する患者さんには他院の紹介も行います。まずは身近な当院にご相談ください。

### 安全を最優先に

患者さんに安心して治療を受けていただくために、センターでは安全を最優先にケアに取り組んでいます。大切な治療を行う責務を全スタッフが自覚して行動できるよう、人材教育には特に力を入れています。また、治療される患者さん一人ひとりに担当看護師が継続してつくるのも当センターの大きな特徴です。不安や迷いも、いつもの看護師と一緒に考え、支えます。何でも遠慮なくお話しください。

### 充実の設備

患者さんの中には一日がかりで点滴治療を受ける方もいます。治療中、ご家族と気兼ねなく過ごしていただけるよう、センターには専用の個室を用意しています。また、プライバシーに配慮し、専用トイレも備えています。がん治療は長期戦。少しでも安心快適に生活していただけるよう、様々な角度から患者さんを支えていきます。



# DOCTOR'S VOICE

ドクターズ  
ボイス

／ 私たちから皆さまに届けたい声がある ／

## vol.50 胸部・心臓血管外科

NAME

戸塚 裕一

Yuichi Totsuka

医長／日本外科学会専門医／下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術実施医／  
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医

DATA.1

当院の胸部・心臓血管外科は、心臓や血管はもちろん、同じ胸部にある肺の外科的診療も一部行っています。戸塚医師が昨年春から加わったことで、常勤医3名体制となりました。

DATA.2

当院で研修医時代を過ごした後、母校の琉球大学医学部附属病院で実績を積み、当院にカムバック。家庭では7人の子育てに奮闘中。「いろいろなことを学ばせたい」とイクメンぶりを発揮。



## VOICE

### 血管の病気は全身病。 心臓から足まで治療します。

心臓や血管の異常で当院を受診する患者さんが最初にかかる診療科は、多くの場合、循環器内科です。その診療の中で手術という外科的な治療を必要とする患者さんを当科が担当します。例えば、心臓に栄養を送る冠動脈に多くの狭窄または閉塞病変がある方や、心不全を繰り返してその原因が弁の変性による場合、また動脈硬化が進行し動脈壁がこぶ状に大きくなる動脈瘤を有する患者さん等を担当します。様々な併存疾患を抱えていたり重症の方が多いため、日頃から他の診療科と十分にコミュニケーションを取って連携を図っています。

血管の病気は全身病。そのため、時には足の

末梢血管を手術することもあります。足は血管が細いので、心臓より足の方が手術の難易度は高いかもしれません。一方、心臓の手術の多くは心臓を止めて手術をするため時間制限があります。正確さに加えて迅速さが求められますね。

また、当科は胸部外科の役割も果たしているため、胸部の外傷や気胸などの肺の病気の手術・治療を行うこともあります。

大きな病院の外科は専門ごとに細分化していますが、当院のように、心臓から末梢血管、肺までを当科で総合的に診ることができるとはある意味で利点だと思います。他科との垣根が低いのも当院の良さですね。

### 経験があっても意識がなければ 患者さんの安全は保てません。

外科医としてより重症の患者さんを治したいという思いから、心臓血管外科の道を選びました。研修医として最初に勤務し始めたのが当院なので当時から知っている先生も多く、コミュニケーションが取りやすい環境に恵まれています。

医師となって一番心がけてきたのはやはり安全面です。特に当科の患者さんはほんの些細なことで病状が変わってしまうので、日々のきめ細かな観察が欠かせません。悪化する前に対処できるように看護師と連携を取っています。どれだけ経験を積んだ医師でも、日々の意識が足りなければ患者さんの安全は保てませんから。

医療機器の進歩で外科の技術もどんどん新しくなっています。患者さんに元気になっていただくことを第一に、より負担の少ない手術の導入にも取り組んでいきたいと思っています。

MINI  
VOICE

### ウォーキングで、血管年齢に負けない！

薬をもらおうとそれだけで安心してしまふ患者さんもいますが、薬は対症療法の一つに過ぎません。根本的に体を元気にするには運動がとても重要。おすすめはウォーキング。難しい手順を覚える必要もなく、手軽に有酸素運動ができます。自分ができる範囲で毎日続けましょう。

お気軽に  
ご相談ください



C E R T I F I E D



認定

NINTEI KANGOSHI

看護師

N U R S E

vol.  
08



認定看護師とは？



特定の看護分野で、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができる看護師として認定される資格です。



はいせつ  
皮膚・排泄ケア  
認定看護師



河合 幸

Miyuki Kawai



### はいせつ 皮膚・排泄ケア認定看護師の役割とは？

入院患者さんが起こしやすい肌トラブルといえば、床ずれ、つまり「褥瘡」です。当院では入院患者さんの褥瘡ゼロを目指して、形成外科医や管理栄養士、理学療法士など様々な関連職種が集まる褥瘡専門チームを組み、病棟の定期回診や問題点の改善を行っています。私は皮膚・排泄ケア認定看護師として、看護の立場からメンバーと情報や意見を交換し、院内の褥瘡予防体制を包括的に構築・運営しています。現在は体圧分散寝具の整備を強化中。チームの努力で、院内の褥瘡発生は全国平均より低い値をキープしています。

その他、主に外科手術創をケアする創傷管理やドレーン管理、ストーマケア、失禁ケアなど、皮膚に関する様々なケアのあり方を考え改善していくのが、皮膚・排泄ケア認定看護師の役割です。

### どんな思いでケアに取り組んでいますか？

患者さんの創傷が良くなっていく過程に携わり、院内での看護を退院後の生活に繋げていくことに、日々喜びを感じています。専門技術を求められるがちではありますが、実際には看護の基本である地道な観察や評価が根本であり、いま目の前にいる患者さんにとってベストな看護や技術を提供していくことが大切だと思います。今後も予防的スキンケアを徹底しながら、退院後の生活まで視野に入れたより良い急性期看護に取り組んでいきたいですね。



地域のみなさまへメッセージ

Message

「10年以上前に手術でストーマを造設し、本人がケアしていたが加齢により困難になった」、「漏れたり臭ったりする」など、ストーマに関する困ったことがあれば是非ご相談ください。床ずれやおむつかぶれなどのご相談も、お気軽にご連絡ください。

## 連携医のご紹介

地域の中核を担う総合病院として、地元の医院との連携も欠かせません。

静岡市駿河区

オハラ マコト しょうかき こうもんげか

### OHARA MAKOTO 消化器・肛門外科クリニック

診療科目 内科・胃腸科・外科・肛門科・消化器外科

〒422-8034 静岡市駿河区高松1-15-31

☎054-237-3000 web▷ <http://ohara-clinic.com>



小原 誠 院長

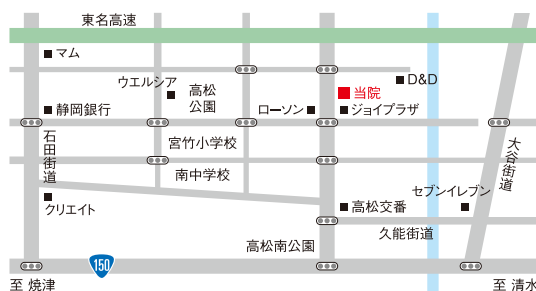
昨年10月に清水区から移転。患者さんが心地良く過ごせるようにと、院内はホテルのロビーのような落ち着いた雰囲気。設備面も整えられており、〈質の高い正確な医療をコツコツと〉をモットーに、高い専門性と正確かつ迅速な診断による治療を提供。「今まで手術や検査を躊躇してきた人にも気軽に来院してもらいたい」と小原院長。痔の手術や鼠径ヘルニア(脱腸)の手術は日帰りでの治療が可能。また、大腸・小腸疾患の診断にはカプセル内視鏡検査も導入している。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 9:00~12:00	●	△	●	×	△	●	×
内視鏡検査 13:00~16:00	○	○	○	×	○	○	×
午後の部 16:00~18:00	●	●	×	×	●	×	×

[休診日] 水曜午後、木曜、土曜午後、日曜、祝祭日及び、第2・第4水曜  
※火曜午前、金曜午前は初診のみ ※手術は火曜、金曜午前

### ACCESS

- ・無料駐車場あり
- ・静鉄バス「宮竹一丁目」下車 徒歩3分



静岡市駿河区

みかみ いん

### 三神医院

診療科目 消化器内科・内科

〒422-8018 静岡市駿河区西大谷4-4

☎054-237-5653



三神 美久 院長

開業から50年、二代にわたり、大谷・久能地区の方を中心に親しまれてきた。長年通っている患者さんも多く、信頼は厚い。〈患者さんが安心できる医療の提供〉を心掛けており、病診連携、診診連携にも積極的に対応。何でも話せる雰囲気作りを大切にしている「病気や治療に関する疑問など気軽に話してほしい」と三神院長。広い駐車場は車で来院する患者さんやお子様連れのママにも嬉しい。天気の良い日に医院から見る夕陽は、院長自慢の光景である。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
午後の部 15:00~18:00	●	●	×	●	●	×	×

[休診日] 水曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日  
※水曜午前、土曜午前は9:00~11:30 ※受付は30分前で終了します。

### ACCESS

- ・無料駐車場あり
- ・静鉄バス「井庄」下車 徒歩3分





2018

今年は開院70周年記念フェア!

# 済生会フェア

6/16 SATURDAY

入場無料!

日時 2018.6/16(土) 10:00~15:00

場所 静岡済生会総合病院  
静岡市駿河区小鹿1-1-1

ステージイベント

和太鼓演奏  
ミニコンサート

駿河  
総合高校  
和太鼓部

手術室見学

販売・飲食コーナー

出張! 南部じまん市  
スリランカカレー  
フライドポテト  
お弁当販売

新鮮野菜  
販売

無料  
測定コーナー

からだバランスチェック  
血中脂質測定  
骨密度測定  
動脈硬化測定

整理券  
配布

お仕事  
体験コーナー

薬剤師体験  
縫合体験  
DMAT体験  
白衣体験

お楽しみ  
コーナー

ハンドマッサージ  
キッズアドベンチャー  
ストラックアウト  
脳トレゲーム

みんなで  
行こう!

同時開催

## 健康のヒケツ

静岡済生会総合病院 開院70周年記念トークショー

日時

2018.  
6/16(土)  
13:00~15:00 (12:30開場)

会場

静岡済生会総合病院 講堂  
※11:00から会場入口で入場整理券を配布します。  
入場無料(140席)

## 開院70周年記念 健康講座&トークショー

血液内科竹内隆浩医師による健康講座と、歌手のサンブラザ中野くん、  
歌人の田中章義さんをゲストに迎えトークショーを開催します。

第2弾



歌手  
サンブラザ中野くん



歌人・元国連WAFUNIF親善大使  
田中章義さん



医師・血液内科部長  
竹内隆浩

静岡県済生会参加施設・静岡済生会総合病院 / 静岡医療福祉センター児童部・成人部・ライトホーム・静岡市発達障害者支援センター / 静岡市中心障害児福祉センターいこいの家 / 特別養護老人ホーム小鹿苑 / 特別養護老人ホーム小鹿なでしこ苑 / 静岡市桜の園・静岡市桜の園城北館 / 静岡市中心障害者ケアセンター / ワーク春日 / 静岡済生会訪問看護ステーションおしか / 静岡県川奈臨海学園 / 静岡済生会看護専門学校

お問い合わせ TEL.054-285-6171 静岡済生会総合病院 済生会フェア事務局

※内容は変更となる場合がございます。  
予めご了承ください。

私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します

社会福祉法人 済生会  
**静岡済生会総合病院**  
Shizuoka Saiseikai General Hospital

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号  
TEL.054-285-6171 FAX.054-285-5179  
<http://www.siz.saiseikai.or.jp/hosp>

済生会とは?

明治44年、明治天皇より済生勅語とともに下賜されたお手元金150万円を基金として、当時の総理大臣桂太郎が「恩賜財団済生会」を創立。以来、済生会では創立の精神を引き継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んでいます。